

表1 障害等級と日常生活におけるコミュニケーション活動  
(場とレベル)の具体的状況例

〔 3級の欄の音声言語機能のレベルに該当すれば3級と判定する。  
3級の欄の項目が可能でも、4級の欄のレベルであれば4級と判定する。 〕

障害等級	コミュニケーションのレベル コミュニケーションの場		理解面	表出面
	本人	家族		
3級	本人 ↓ 家族	本人 ↑ 家族	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人や家族の名前がわからない。</li> <li>住所がわからない。</li> <li>日付、時間がわからない。</li> <li>部屋の中の物品を言われてもわからない。</li> <li>日常生活動作に関する指示がわからない(風呂に入って、STに行つて、薬を2錠飲んで……)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人、家族の名前が言えないか、通じない。</li> <li>住所が言えない(通じない)。</li> <li>日付、時間、年齢が言えない(通じない)。</li> <li>欲しい物品を要求できない(通じない)。</li> <li>日常生活動作に関する訴えができないか通じない(窓を開けて……)。</li> <li>身体的訴えができない(通じない)。</li> </ul>
	状況依存度が 高い		本人の所属、時間 日常生活動作、物品に関する指示	本人の所属、時間 日常生活動作、物品に関する要求
4級	本人 ↓ 家族 周辺	本人 ↑ 家族	<ul style="list-style-type: none"> <li>問診の質問が理解できない。</li> <li>治療上の指示が理解できない(PT、薬の飲み方……)。</li> <li>訪問者の用件がわからない。</li> <li>電話での話がわからない。</li> <li>尋ねた道順がわからない。</li> <li>おつかいができない(どこで、何を、いくつ、いくら、誰に、いつ)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>病歴、病状が説明できない(通じない)。</li> <li>治療上のことについて、質問ができない(通じない)。家族に内容を伝えられない。</li> <li>訪問者に用件を質問できないか通じない。用件を家族に伝えられない。</li> <li>電話で応答できない。家族に内容を伝えられない(いつ、誰、何、どこ)。</li> <li>知り合いに電話をかけて用件が伝えられない(通じない)。</li> <li>行先が言えない(通じない)。道順を尋ねられない(通じない)。</li> <li>買物をことばでできないか通じない(何をいくつ、いくら)。</li> </ul>
	状況依存度が 低い		家族以外の者から、日常生活動作について、質問されたり、指示されたりしたときに、理解できない。	家族以外の者に、日常生活動作に関することを説明できない。